

ともに生きる 共生

いじめをノックアウト！ “女らしさ 男らしさ”が いじめにつながる!?

放送日：2021年1月22日 放送時間：10分



対象校種 小学校4年生以上 中学校 高校
対象教科 特活 道徳 総合

この番組の良さ



● LGBTQの理解と課題

性的指向や性自認が大多数の人と異なる性的少数者にあたる方々を指す言葉として「LGBT」が使われるようになりました。そして、最近では、LGBTにQを加えて、自分の性自認や性的指向が定まっていない人、あえて定めていない人にあたる方々に対しても使われるようになりました。しかし、まだ性的少数者(性的マイノリティー)の困難を知り、理解している人は少ないのが現状です。本番組の視聴を通して、性的マイノリティーについて知るきっかけとなり、特に学校現場での課題を見つけ、どのように配慮すべきかについて考えることができます。

● 人権を尊重し合う社会へ

私たちは性別に関係なく、人としての権利を持っています。性に関わる考え方によって、差別や不利益を被ることはあってはいけません。多様な考え方や生き方を尊重し、その権利を保障する社会こそが、目指すべき社会です。番組視聴を通して、多様な考え方への理解をすることができます。

番組活用のポイント

● 「男らしさ、女らしさ」の認識の違い

時代ごとに「男らしさ、女らしさ」の捉え方が変化してきました。例えば、小学校の入学時では、男子は黒いランドセル、女子は赤いランドセルを背負う姿が多く見られた時代がありました。最近では、多様な色や形のランドセルがあり、入学式では男女関係なく、好きな色のランドセルを背負う姿に変わっています。しかし、現在でも「男らしさや女らしさ」について、差別につながるような発言や考え方がまだ残っています。特に、性を区別して扱う場面がある学校現場では、気付かぬうちに差別に繋がってしまっている場合があります。本番組は、児童生徒に「男らしさ、女らしさ」への考えを問い直し、多様な考え方に触れ、交流することに活用できます。

● もし、身近にLGBTQに悩む友達がいたら?

本番組には、LGBTQの方が、学生時代に悩み、差別やいじめ体験を語る場面があります。自分の身近にも性同一性障害に悩んでいる友達がいるかもしれない、またはこれから出会うかもしれないと仮定した時、自分はどうのように相手を理解し、関わっていくかについて考えたりする学習に、番組を活用することができます。また、番組内で同じテーマを考える中学生の発言を参考にしながら学習すると、より自分の考えを深めることができます。

● LGBTQ教育・ジェンダー教育の資料として

現在、日本の教育の中でLGBTQの子供がいることは事実であり、その対応が求められています。文部科学省は、教職員向けに「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」(2015)を提示しました。教育現場では、さらに研修を続けることが求められ、本番組はLGBTQにあたる児童・生徒への理解を深める資料として活用できます。また、すでにティーチャーズ・ライブラリーにラインナップされている番組・[道徳ドキュメント「男らしさ、女らしさって何？」](#)もあわせて視聴すると、効果的に研修を深めることができます。



執筆者
石狩市立双葉小学校
教諭 前多香織

性別に悩む友達がいたら、 自分はどのように関わったらよいだろうか。





対象校種

小学校

対象教科

総合

[授業時間 45分] 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">違和感がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の服がおかしい。 ・男は王子、女は姫。 ・男らしくない。 </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">違和感はない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな服着て良い。 ・好きな役をして良い。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・一枚のイラストを見せ、思うことを聞く。(番組の冒頭画像。) ・なぜそう思ったか、理由も聞く。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>番組部分視聴① 問題発見</p> <p style="text-align: right;">(2分40秒:はじめ~2分40秒)</p> </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・番組視聴して気がついたことや思ったことを聞く。
<p style="text-align: center;">男らしさ、女らしさに苦しむ人がいる。仲良くすることができないかも。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>性別に悩む友達がいたら、自分はどのように関わる？</p> </div>	
<p style="text-align: center;">性別に悩む友達って、どんな人？ もっと詳しく知りたい。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>番組部分視聴② 女らしさに苦しんだ麻斗さん</p> <p style="text-align: right;">(2分05秒:2分40秒~4分45秒)</p> </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・女らしさに苦しんだ麻斗さんの話を部分視聴し、感想を聞く。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・体と心の違和感に悩んでいた。 ・いじめられて、可愛そうだ。化物扱いされたのはひどい。 ・女らしさや男らしさは、人それぞれの考えで良い。決めつけるのは辛い。 ・死にたいと思うまで追い詰められていて、辛い。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・もし近くに麻斗さんのような友達がいたらどうするかを問う。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p>・考え方を理解したい。・いじめを止める。・悩みを聞き、一緒に考える。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアや小グループで考えを交流させた後に全体交流をする。
<p style="text-align: center;">もっと色々な考えを聞きたい。番組の中学生はどう思ったか知りたい。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>番組部分視聴③ 中学生の考えと麻斗さんのその後</p> <p style="text-align: right;">(5分21秒:4分45秒~最後)</p> </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・番組の中学生やMCの高橋さんの考え、麻斗さんのその後の生き方について部分視聴する。 ・麻斗さんのような友達がいたら、自分はどのように関わりたいかを考え、学級全体で交流する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>体の性別と心の性別が違うことは悪いことではない。 自分と異なる考えを持っている友達がいても、人格を否定しないで、相手を理解し仲良く関わっていけばよい。</p> </div>	<p>【学び向かう力 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQに悩む人たちへの関心をもち、多様な考えを理解し、どのように関わっていくかを考えることができたか。